

第5回新潟人間生活学会プログラム

日時 平成26年7月26日（土） 午後1時～4時20分

会場 新潟県立大学 〒950-8680 新潟県新潟市東区海老ヶ瀬471番地
第1部 ポスターセッション 1362・1361(予備) 講義室
第2部 企画セッション 1313講義室



第1部 ポスターセッション（午後1時～2時）
※午後1時～1時30分 コアタイム（個別に質疑応答）
午後1時30分～2時 ポスター賞投票

第2部 企画セッション（午後2時15分～4時20分）

司会 子ども学科教授 戸潤幸夫

★ 学会長挨拶

人間生活学部長 大桃伸一

1. シンポジウム（午後2時20分～4時15分）

テーマ「社会経済的要因と生活・健康」

近年、日本では少子高齢化と人口減少と過疎化、経済的成長の低迷、家族や近隣の社会関係の在り方の変化等、個人を取り巻く社会経済的な環境が急激に変化している。その中で、社会経済的条件により、人々の生活や健康状態にも格差が生じていることが明らかになりつつある。社会経済的条件による生活や健康の格差は、個人の努力だけでは解決できない場合も多く、社会的な対応が必要であり、そのためには実証的な研究が不可欠である。そこで、本シンポジウムでは、社会経済的要因と生活・健康に関する実証研究をもとに、実態を認識し、今後必要な研究や対策について考える機会としたい。こうした状況は、先進諸国やアジア諸国にでもおこることが推測され、日本がどのような解決策を出せるかは、他国にとっても参考になると考えられる。

コーディネーター

田邊直仁・村山伸子(新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科教授)

高齢生活保護者世帯の生活と意識（30分）

小澤 薫先生(新潟県立大学人間生活学部子ども学科講師)

高齢者の栄養状態と社会経済的要因(30分)

太田亜里美先生(新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科准教授)

GISを用いた健康格差の見える化とその要因についての分析(30分)

菖蒲川由郷先生(新潟大学大学院医歯学総合研究科
国際感染医学講座国際保健分野 准教授)

総合討論 25分

★ ポスター賞発表・贈呈

人間生活学部長 大桃伸一

★ 閉会の挨拶

健康栄養学科教授 佐藤恵美子

お問い合わせ先

〒950-8680 新潟県新潟市東区海老ヶ瀬471番地 新潟県立大学

TEL・FAX 025-270-2114 E-Mail toma@unii.ac.jp

担当者 新潟県立大学人間生活学部子ども学科 戸潤幸夫（とまゆきお）